

【鹿児島県 肝付町高山エリア 歴史探索ガイド】



大隅の雄 **肝付氏の足跡**

薩摩藩時代の武家屋敷 **二階堂家住宅**

「大隅最古」と「日本最南端」を有する **塚崎古墳群**

肝付町観光協会

ココで
ご紹介するテーマと
肝付町内の主な
観光スポット

「大隅最古」と「日本最南端」を有する
塚崎古墳群

このページの下部

肝付町観光協会
肝付町観光案内所

このページの裏面

ご希望の
観光スポットを
観光ガイドが
ご案内します

各種マップはコチラ

肝付町へのアクセス
・町内のエリアごとの
店舗マップ など

観光ガイド
肝付ふるさと案内人

◆ 料金 (3時間以内のガイドの場合)
1~6人 お1人 500円
7人以上 1団体またはバス1台 3,000円

◆ 申込方法 申込用紙に必要事項を記入し、1週間前までにメールまたはFAXで下記までお送りください。

◆ 申込用紙 上のQRコードを読み取って肝付町観光協会HPからダウンロードするか、下記へお問い合わせください。

編集・発行 株式会社きもつき未来商社 そらまち

観光情報は
コチラ

肝付町観光案内所
◎ 8:30 ~ 17:00
〒893-1402
鹿児島県肝付郡肝付町南方 2643
肝付町役場 内之浦総合支所 1階
@kimotsuki.kankou @kankoukimotsuki @kimokann @kimotsukichannel

高山エリアの歴史探索ガイド

「大隅最古」と「日本最南端」を有する 塚崎古墳群

観光ガイドが
動画で解説



古墳は薩摩半島にはほとんどありませんが、大隅半島には集中的に作られています。古墳時代の大隅には強い勢力をもつ豪族がいて、大和政権と交流があったと推測されています。

塚崎古墳群には大隅最古の古墳や本土最南端の前方後円墳が発見されていますが、その多くが畑に埋もれています。あの畑の中にも、古代の王が眠っているかも…



8 国指定天然記念物 塚崎のクス

つかざきのクス
Giant Camphor Tree
In Tsukazaki

パワースポット

幹にあいた大穴がハート型に見えたら素敵な出会いがあるかも♡悠久の大自然パワーも感じてください。



塚崎古墳群1号墳の上に根を下ろす、県内トップクラスの大きさを誇る楠。塚崎大楠神社の神木で、推定樹齢は1300年以上とされています。高さ約25m、幹周り約14m。2022年の台風により大枝の一部が折れて落下したため、遊歩道の一部が通行止めになっています。

7 国指定史跡 塚崎古墳群

つかざきこふんぐん
Tsukazaki Kofun Cluster

古墳時代の初期にあたる4~5世紀に造られた古墳群。前方後円墳5基、円墳54基(現存39基)などから構成されています。このうち11号墳は大隅最古の古墳(前方後円墳)で、51号墳は日本最南端の前方後円墳です。ほとんどの古墳が畑の中に埋もれており、農作業の最中に土器や人骨が発見されることがあります。畑や草むらの中に立つ石柱が、埋もれた古墳の目印です。

写真左: 記念碑と案内看板
右: 畑に埋もれる古墳
◎ 肝付町野崎

9 肝付町立 歴史民俗資料館

きもつきちょうりつ
れきしむんぞくしりょうかん
Kimotsuki Museum of
History and Folklore

肝付町の歴史・民俗を知ることができる資料館。塚崎古墳群からの出土品や古民具、高山流鏝馬の資料などが展示されています。

◎ 肝付町野崎 1936
※ 月曜、祝日、12/28 ~ 1/4



大隅の古墳の歴史

肝付町
塚崎古墳群

大隅最古は
塚崎古墳群の
11号墳

西暦
300年

東
唐仁古墳群

大隅
大隅古墳

大隅
大隅古墳

400年

500年

出典: 柳澤一男 2015
「横瀬古墳とヤマト王権のつながり」

塚崎古墳群からの主な出土品

塚崎古墳群では、4世紀頃のつぼ形の「はにわ」や、現在の大阪や奈良で作られていたものと同じ形の土器が発見されています。また5世紀頃に朝鮮半島の技術で作られた大型のカメ「須恵器」が見つかり、大阪産や愛媛産であることがわかりました。これらの出土品は、塚崎古墳群を作った人々が様々な地域と交流していたことを示しています。

塚崎古墳群からの出土品の一部
右: 須恵器カメ(愛媛産)
左: つぼ形はにわ
写真提供: 肝付町教育委員会

大陽の雄

薩摩藩時代の武家屋敷

肝付氏の足跡 & 二階堂家住宅

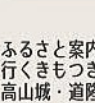
関連スポット ① ② ④ ⑤ ⑥

関連スポット ③

観光ガイドが
動画で解説♪



ふるさと案内人と
行くきつきの旅
鹿・野町編



ふるさと案内人と
行くきつきの旅
高山城・道隆寺編



肝付氏とは…

肝付氏は平安時代後期に中央政権から派遣された伴兼行を先祖とする一族で、1036年に弁済使としてこの地に移り住み、伴兼俊が肝付氏を名乗り始めました。戦国末期の16代兼統の頃は十数万石の勢力を誇り大隅半島全体を制し日向の飢肥城をも制圧するほどでしたが、1580年に18代兼道が島津義久によってよそへ移封され、約400年間の統治時代を終えました。



1 四十九所神社



肝付氏の祖・伴兼行が伊勢神宮から分霊を受けて平安時代後期に創建したとされる神社。49柱の祭神が合祀されており、**伝統行事・高山流鏝馬**の舞台です。5月末～6月初旬には、境内の水路沿いに**ホタル**が飛び交うことでも知られています。

行伝事統

県指定無形民俗文化財
高山流鏝馬と高山やぶさめ祭

10月第3日曜におこなわれる高山流鏝馬は、国家安泰・五穀豊穡・悪疫退散を祈願する年占いの行事です。射手に選ばれるのは**地元の中学2年生の男子**で、約1ヶ月半の練習期間を経て本番を迎えます。330mの馬場を人馬一体となって3回疾走し、9本の矢を的に向けて放つ様は圧巻！前日は花火大会が催され、当日は出店や体験ブースが並ぶ高山やぶさめ祭が開催される、町の一大行事です。



パワースポット

流鏝馬は「的を射る」行事なので、合格祈願や満願成就にご利益があるかも…？49柱の神様がいらっしゃる隣には、安産神も鎮座しています。

2 麓・野町の町並み

薩摩藩の統治時代に区切られた武士の居住区「麓」と商人の居住区「野町」の名残がある町並みです。当時の特徴をのこす建物の多くが今も住居として使われているため、建物内部の見学は不可となっています。立派な石垣や武家門、狭い間口、小さな祠や神社をぞっと観察してみてください。



行伝事統

県指定無形民俗文化財
本町の八月踊り

江戸時代から続くといわれる行事で、9月第4土曜日に行われ五穀豊穡と無病息災を祈願します。鉦を鳴らしながら八坂神社などの水神の祠を回ったのち、集落中心部で行われるのが**八月踊り**です。三味線や胡弓・太鼓の調べと踊り手たちの雰囲気、昔懐かしい情緒を誘われます。

レアな建築物

薩摩藩時代の茅葺の武家屋敷で現存するのは、ほかに2例のみ！

3 二階堂家住宅

江戸時代後期に修築された郷土の住居。「おもて」の棟と「なかえ」の棟が直交した雁行型の寄棟造の二棟造が特長です。もともと鎌倉幕府の御家人であった二階堂家は13世紀に薩摩藩の目付役として中央より派遣され、その後は島津家の家臣としてこの地の統治に参加しました。1900年代後半に活躍した政治家・二階堂進の生家でもあります。



なぜパンダ？

建物の中にひっそりと座っているパンダ。二階堂進が日中の友好関係に尽力したことになんでいるのかも…？

6 町指定史跡 道隆寺跡

肝付4代兼員のもと、禅僧・蘭溪道隆(道隆禅師)が1246年に開山した禅寺跡。本堂などがあった場所は水田になるなど建造物は残っていませんが、観音堂跡や多くの石塔がこの長い歴史を物語っています。蘭溪道隆はその後、北条時頼に請われて鎌倉に登り巨福山建長寺を開山しました。青モミジと紅葉が美しい撮影スポットでもあります。



高山エリア 本城地区



紅葉スポット

肝付町の2大紅葉スポットといえば「道隆寺跡」と「本城の大イチョウ」。どちらも谷間に位置するためか、紅葉が珍しい南国・肝付町にありながら、11月下旬から12月上旬にかけて美しく色づきます。



5 国指定史跡 高山城跡

肝付氏の祖・伴兼行が築城したとされる難攻不落の山城で、肝付氏が島津氏によって阿多(現・南さつま市)に移封されるまでの本拠地でした。総面積約30万㎡と広大な丘陵地帯に本丸・二の丸・山伏城・奥曲輪などが空堀で区画されています。看板を頼りに山内を歩きながら面影を辿ることが出来ます。建造物はほとんど残っていないので、**観光ガイドと一緒に探索するのが良いでしょう。**ガイドについては裏面をご覧ください。

◎ 肝付町新富 (入口：本城集落センター) ※ 写真の本丸跡までは未舗装の小道。1周約1km。



4 町指定史跡 盛光寺跡

1272年、肝付4代兼員の菩提寺として5代兼石が創建しました。8代兼重から17代兼重までの、12代250年間の高山城主らが眠っています(3城主は欠けている)。建造物は残っていませんが、地元有志によって整理された石塔が整然と並べられています。



◎ 肝付町前田

飲食店やお土産の情報は、裏面のQRコードから肝付町観光協会HPをご覧ください。